

整理番号	32-2	事務事業名	休日等給水サービス業務委託	作成部署	水道部業務課	電話	内線878	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	赤沼正三	課長職名	加藤正人	作成日	平成17年6月17日
事務事業開始年度	H12	根拠法令等						
〃 終了予定年度	-							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	平成10年度から、国の規制緩和の一環で指定給水装置工事事業者の指定基準が緩和され、十数社から100社以上に増大した為、閉庁後の使用者の相談や配水施設の緊急修繕等の迅速な対応に支障をきたすため、市内業者の当番制を導入したものである。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれるまち	(第5章)
	節	上水道	(第5節)
	施策	水の安定供給	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	水道使用者及び配水施設	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	安定した給水の確保を図ること。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	夜間休日等の水道使用者からの問い合わせ等への対応及び配水管の漏水に対する迅速な処理。
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源				
	合計	2,354	2,310	2,379	2,379
人件費(概算)	人数(年間)	0.10	0.10	0.10	0.10
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	900	900	900	900
総事業費 +		3,254	3,210	3,279	3,279

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	問い合わせ及び漏水件数	56件	71件	100件	100件
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	対応件数	56件	71件	100件	100件
	(達成率)	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)		58千円/件	45千円/件	33千円/件	33千円/件

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	近隣市においても同様の給水サービスを実施している。
---------------------------------	---------------------------

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	公営企業として水道事業が行う給水サービス及び応急体制の確保の一環である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	お客様ニーズ及び水道安定供給の要求に対応している。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	北広島市管工事協会への委託により実施しており、妥当である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	お客様ニーズ及び水道安定供給の要求に十分対応している。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	給水装置に関する技術的な問い合わせ及び配水管漏水時の現地対応が十分考慮されているので効率的である。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	現状で十分な対応ができており、当分継続する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり